

サポート事業所様向け

ORCAMO クラウド VPN サービス (ルータ型)

機種 CE-S1

設置・操作マニュアル

第 1.7 版

2018 年 11 月

日本医師会ORCA管理機構株式会社

ORCAMO クラウド VPN サービス (ルータ型) 設置・操作マニュアル (サポート事業所様向け)	CE-S1	第 1.7 版
--	-------	---------

改訂履歴

版	発行日	改訂履歴	作成・改訂
1.0	2017 年 3 月	初版	
1.1	2017 年 7 月	5.5. プロキシ設定内容の修正 6. VPN 切替画面の仕様を追加	
1.2	2017 年 8 月	5.1.2.VPN 有効化(VPN 状態)に macOS 向けの注意を追記 5.2.再起動方法を追加 6.トラブル対応手順を追加	
1.3	2017 年 10 月	2.お問い合わせ先のヘルプデスク受付時間を変更	
1.4	2018 年 01 月	3.1.4.予約 IP アドレスを追加 3.1.5.接続不可となるグローバル IP アドレスを追加	
1.5	2018 年 04 月	サービス名称の変更	
1.6	2018 年 06 月	3.1.3.通信要件の接続先 IP アドレスを変更 5.7.1.接続方法の記載内容の修正 5.7.2.VPN 切断条件の追加	
1.7	2018 年 11 月	体裁の調整(CE-S1)	

目次

1.	はじめに.....	4
2.	お問い合わせ先.....	4
3.	ご提供機器.....	5
3.1.1.	同梱品.....	5
3.1.2.	各部名称と働き.....	5
3.1.3.	通信要件.....	8
3.1.4.	予約 IP アドレス.....	9
3.1.5.	接続不可となるグローバル IP アドレス.....	9
4.	設置方法.....	10
4.1.1.	本体の設置.....	10
4.1.2.	上位ルータが存在する場合の設定変更.....	11
4.1.3.	LAN 側端末のローカル IP アドレス設定.....	12
5.	操作方法.....	14
5.1.	接続先切替画面の操作方法.....	14
5.1.1.	接続先切替画面のショートカット作成.....	14
5.1.2.	VPN 有効化 (VPN 状態).....	15
5.1.3.	VPN 無効化 (インターネット状態).....	16
5.2.	再起動方法.....	17
5.3.	日医標準レセプトソフト クラウド版への接続方法.....	18
5.4.	審査支払機関への接続方法.....	18
5.5.	インターネット/院内他セグメントへの接続方法.....	18
5.6.	セキュリティサイトアクセス接続・利用方法.....	19
5.7.	リモートメンテナンス接続・利用方法 (本ルータ機能).....	21
5.7.1.	接続方法.....	21
5.7.2.	VPN 切断条件.....	21
5.7.3.	利用方法例 (telnet).....	22
5.7.4.	利用方法例 (リモートデスクトップ).....	23
5.7.5.	利用方法例 (RealVNC).....	24
5.7.6.	利用方法例 (Teamviewer).....	24
6.	トラブル対応手順.....	25
6.1.	VPN ルータの PPP ランプが赤点灯している.....	25
6.2.	インターネットに接続できない.....	25
6.3.	日レセ クラウド、審査支払機関に接続できない.....	25
7.	接続先切替画面の仕様.....	26
7.1.	インターネット/VPN 切替操作仕様.....	26
7.2.	インターネット/VPN 状態確認仕様.....	27
8.	商標について.....	28

1. はじめに

本マニュアルは、ORCAMO クラウド VPN サービス(ルータ型)でご提供するルータの設置、操作手順について記述しています。

本マニュアルは、サポート事業所様向けの手順書です。開示範囲はサポート事業所様に限定します。

2. お問い合わせ先

本ルータに関するお問い合わせ先です。

<日本医師会ORCA管理機構株式会社>

本サービスの一般なお問い合わせに関する対応窓口です。

受付電話:03-5981-9681

開設時間: 平日 10:00-17:00

<ルータ障害お問い合わせ窓口>

本ルータの障害対応専用のヘルプデスクです。

サポート事業所様専用のお問い合わせ窓口となります。

受付電話:03-5750-7941

開設時間: 平日 8:30-20:00

休日 8:30-18:00

- * 障害対応は 平日 9:00-17:00 となります。
- * ヘルプデスクは三菱電機インフォメーションネットワーク社(MIND 社)が運営しています。
- * 休日は土、日、祝祭日、及び MIND 社休業日となります。

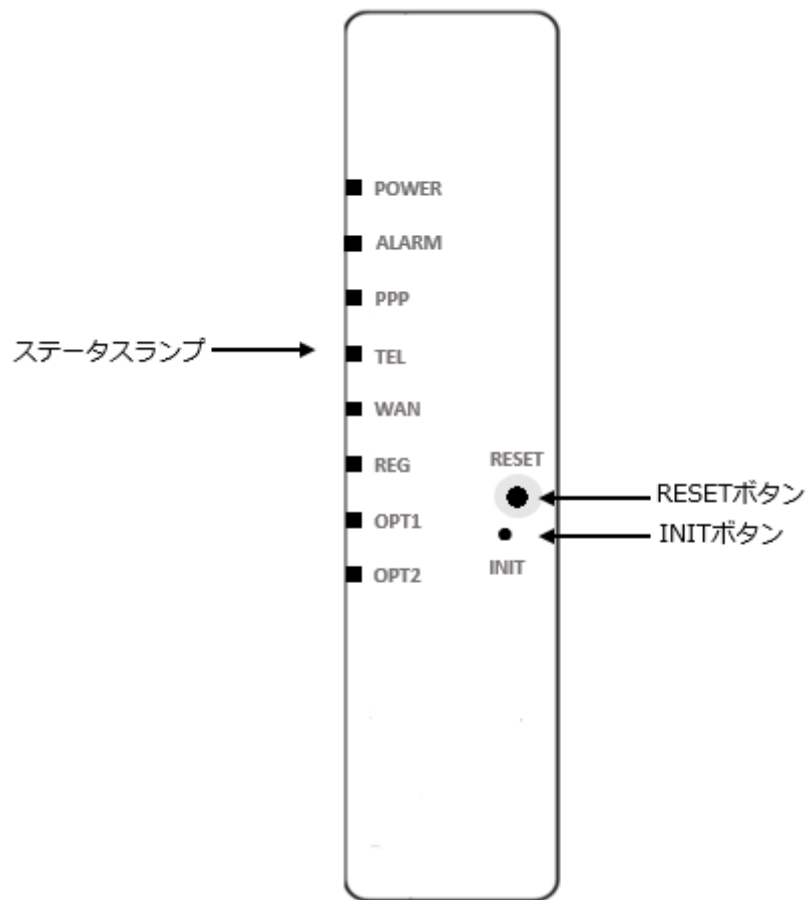
3. ご提供機器

3.1.1. 同梱品

- 本体(CE-S1)1 式
- AC アダプタ
- LAN ケーブル
- 設置用台座

3.1.2. 各部名称と働き

(1) ルータ前面



<正面図>

前面ボタン

ボタン	用途
RESET ボタン	本ルータを再起動します。
INIT ボタン	本ルータを工場出荷状態に戻します。 サポートに指示された場合のみ使用します。

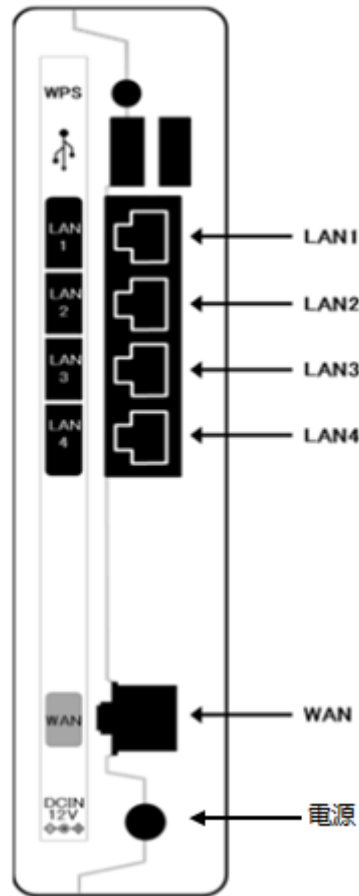
ステータスランプ

LED 種別	内容	状態	表示色
POWER	電源 ON	点灯	緑
	起動中	点灯	緑
	電源 OFF	消灯	-
ALARM	電源 ON	点灯	緑
	正常状態	消灯	-
	ファームウェアダウンロード後 FlashROM への書き込み開始	点灯	赤
	ファームウェアダウンロード後 FlashROM への書き込み終了	消灯	-
PPP	電源 ON	点灯	橙
	起動中	消灯	-
	IP アドレス取得有	点灯	緑
	IP アドレス取得無	点灯	橙
WAN	電源 ON	点灯	緑
	リンクダウンまたは未接続	消灯	-
	データ送受信中	点滅	緑
	リンクアップ	点灯	緑
OPT1	VPN 接続中	点灯	緑
	VPN 切断状態	消灯	-

ご注意点

- ・OPT1 は後述の[インターネット状態]でも点灯する場合があります。
- ・OPT2 は使用しません。

(2) ルータ背面



<背面図>

ポート	グループ	用途	搭載ポート
WAN	[WAN 専用]	WAN 接続	1000BASE-T
LAN1	[LAN 専用]	LAN 接続	1000BASE-T
LAN2	[LAN 専用]	LAN 接続	1000BASE-T
LAN3	[LAN 専用]	LAN 接続	1000BASE-T
LAN4	[管理専用]	使用不可	1000BASE-T

ご注意点

- ・LAN4 は管理用ポートのため使用できません。
- ・USB ポート、WPS ボタンは使用しません。
- ・WPS ボタンがありますが、本ルータに無線 LAN 機能はありません。

3.1.3. 通信要件

本ルータの使用に必要な通信プロトコル・通信ポートは以下となります。
上位ネットワークへの通信許可設定をお願いいたします。

接続先	IP アドレス	通信プロトコル	送信先通信ポート	通信方向
ORCAMO クラウド VPN センタ	122.210.190.178	UDP UDP IP50(ESP)	500 4500 -	送受信
標準 VPN センタ	202.228.11.1	UDP UDP IP50(ESP)	500 4500 -	送受信
セキュリティサイトアクセス	203.178.80.68	UDP UDP IP50(ESP)	500 4500 -	送受信
リモートメンテナンスセンタ	203.178.80.75	UDP UDP IP50(ESP)	500 4500 -	送受信
ダウンロード管理サーバ	203.178.80.77 202.228.11.211 202.228.11.212	UDP UDP IP50(ESP)	500 4500 -	送受信
NTP サーバ	133.243.238.164 133.243.238.163 133.243.238.244 133.243.238.243	UDP	123	送受信

3.1.4. 予約 IP アドレス

以下のプライベート IP アドレスを本サービスにおいて予約しています。VPN ルータに以下の IP アドレス帯はご利用になれませんのでご注意ください。WAN 側、LAN 側共に使用を禁止しております。

予約IPアドレス一覧

IP アドレス帯	開始	～	終了
10.5.0.0/16	10.5.0.0	～	10.5.255.255
10.32.165.0/24	10.32.165.0	～	10.32.165.255
10.104.0.0/21	10.104.0.0	～	10.104.7.255
10.144.0.0/13	10.144.0.0	～	10.151.255.255
10.156.0.0/16	10.156.0.0	～	10.156.255.255
10.160.0.0/24	10.160.0.0	～	10.160.0.255
10.160.32.0/24	10.160.32.0	～	10.160.32.255
10.170.0.0/16	10.170.0.0	～	10.170.255.255
10.171.0.0/16	10.171.0.0	～	10.171.255.255
10.190.0.0/16	10.190.0.0	～	10.190.255.255
10.191.0.0/16	10.191.0.0	～	10.191.255.255
10.192.0.0/10	10.192.0.0	～	10.255.255.255
172.16.0.0/19	172.16.0.0	～	172.16.31.255
172.19.0.8/30	172.19.0.8	～	172.19.0.11
172.20.0.0/16	172.20.0.0	～	172.20.255.255

3.1.5. 接続不可となるグローバル IP アドレス

VPN ルータがインターネット状態であっても以下の範囲のグローバル IP アドレスと通信が行えません。

接続不可のグローバルIPアドレス一覧

IP アドレス帯	開始	～	終了
2.2.2.0/24	2.2.2.0	～	2.2.2.255

4. 設置方法

4.1.1. 本体の設置

(1) 装置の設置

同梱されている台座(縦置き/横置きどちらでも利用可)を使い、本装置を設置してください。

(2) WAN 側回線の接続

上位ルータまたは ONU と本ルータの WAN ポートを接続します。

(3) 電源ケーブルの接続

電源ケーブル接続後、前面 LED が点灯します。

(4) LAN 側端末の接続

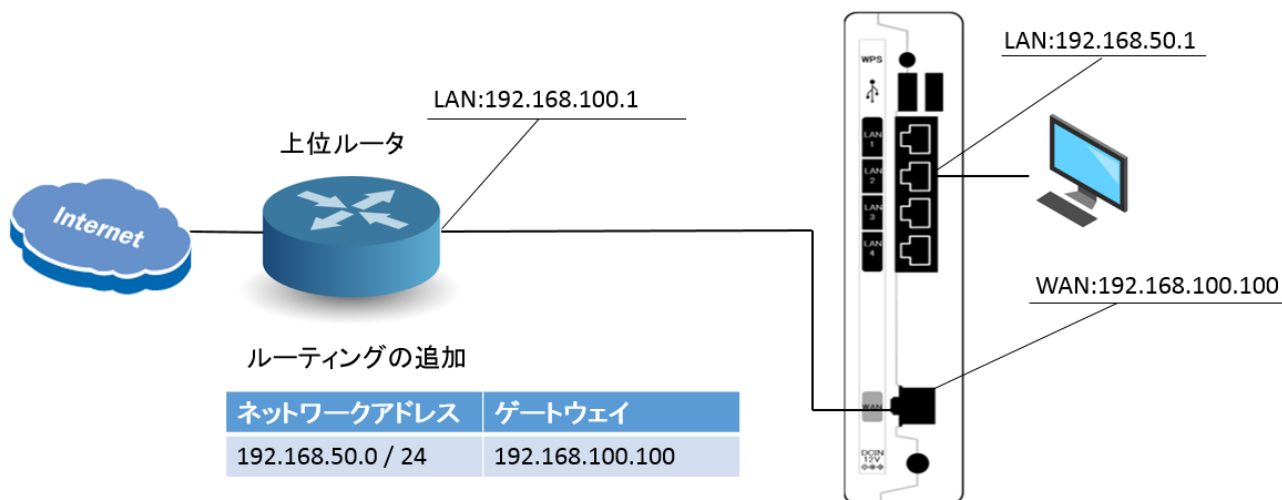
オンライン請求で使用する端末と本ルータの LAN ポートを接続します。

ご注意点

電源投入後、5～10 分程度経過し、完全に立ち上がるのをお待ちください。

4.1.2. 上位ルータが存在する場合の設定変更

上位ルータが存在する場合には、上位ルータに本ルータ用のルーティング設定が必要です。
 また、本ルータが DHCP の場合には上位ルータで WAN 側の IP アドレスを設定します。



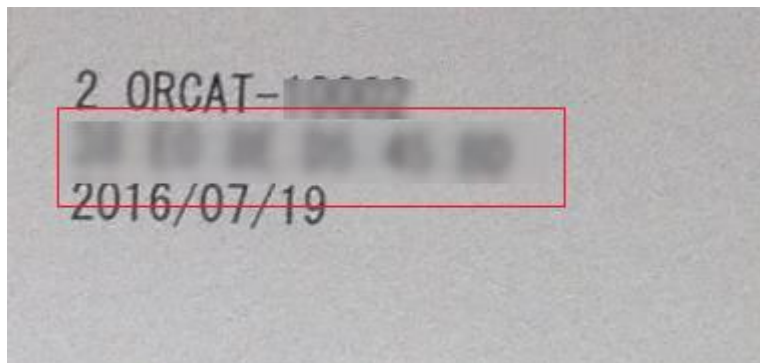
■設定例

YAMAHA ルータの場合は以下のコマンド(上記例の場合)で IP アドレスが固定できます。

```
dhcp scope bind scope_num 192.168.100.100 MAC_ADDRESS
```

scope_num: 上位ルータの設定により異なります。

MAC_ADDRESS: 本ルータ筐体の銀シールに MAC アドレスが記載されております。



YAMAHA ルータの場合は以下のコマンド(上記例の場合)でルーティングが追加できます。

```
ip route 192.168.50.0/24 gateway 192.168.100.100
```

4.1.3. LAN 側端末のローカル IP アドレス設定

本ルータの LAN 側ポートに接続する端末に対して、ローカル IP アドレス設定します。
 本ルータの DHCP 機能が有効な場合でも DNS サーバの手動設定が必要な場合があります。
 リモートメンテナンスを行う場合はローカル IP アドレスを固定ください。

- ①上位ルータで DNS の代理応答が可能な場合：
 - ・上位ルータの LAN 側 IP アドレスを【代替 DNS】に設定します。
- ②上位ルータで DNS の代理応答ができない場合：
 - ・プロバイダ指定の DNS サーバを【代替 DNS】に設定ください。
- ③上位ルータがない場合：
 - ・プロバイダ指定の DNS サーバを【代替 DNS】に設定ください。

ローカル IP アドレスの設定例

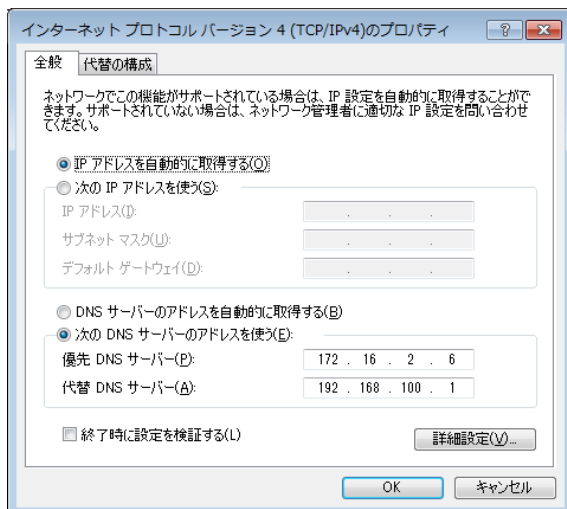
IP アドレス	申込情報シートに記載したローカル IP アドレス帯の範囲で設定します。 例: 192.168.50.2	
サブネットマスク	本ルータのサブネットマス 『255.255.255.0』 を設定します。	
デフォルトゲートウェイ	申込情報シートに記載した本ルータの LAN 側 IP アドレスを設定します。 例: 192.168.50.1	
DNS サーバ	優先 DNS	ORCAMO クラウド内 DNS サーバの IP アドレスを設定します。 172.16.2.6
	代替 DNS	上位ルータの LAN 側 IP アドレス、または、プロバイダ指定の DNS サーバの IP アドレスを設定します。 例: 192.168.100.1

<Windows の場合の設定例>

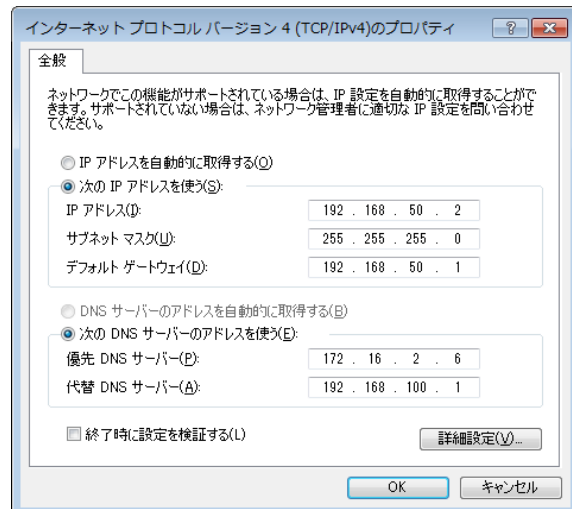
端末のネットワークインターフェイスの「プロパティ」より「インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)」の「プロパティ」を開きます

DNS 設定は「次の DNS サーバのアドレスを使う」を選択し設定します。

<DHCP を利用する場合>



<ローカル IP アドレスを固定する場合>



<Ubuntu の場合の設定例>

< Terminal での設定例>

『/etc/network/interfaces』を管理者権限で開き、以下のように設定します。設定後に PC を再起動します。

```
auto lo
iface lo inet loopback

auto eth0          # イーサネットデバイス(eth1 や eth2 となることもあります)
iface eth0 inet static
address 192.168.50.2    # PC の IP アドレス
netmask 255.255.255.0  # 本ルータのサブネットマスク
gateway 192.168.50.1   # 本ルータの LAN 側 IP アドレス
dns-nameservers 172.16.2.6 192.168.100.1 #本ルータの LAN 側 IP アドレスと上位ルータの LAN 側 IP アドレス
dns-search foo.org bar.com
```

<GUI での設定例>

デスクトップ右上にあるネットワーク設定で[接続の編集]を選択し、ネットワークインターフェイス「編集」を押します。開いた画面から「IPv4 設定」を開きます。

優先 DNS と代替 DNS の間は「, 」で区切ります。



5. 操作方法

本ルータでは接続先切替画面から[インターネット状態]と[VPN 状態]の切り替えが可能です。
切替操作について説明します。

インターネット状態	一般のインターネットや院内別セグメントの利用が可能
VPN 状態	①ORCAMO クラウド内の日医標準レセプトソフト クラウド版が利用可能 ②審査支払機関のオンライン請求システムが可能 ③VPN 接続中に一部のインターネットサイトの閲覧が可能 (セキュリティサイトアクセス機能) ④リモートメンテナンスが可能 (リモートメンテナンス機能)

5.1. 接続先切替画面の操作方法

VPN 切替画面にアクセスし、[インターネット状態]と[VPN 状態]を切り替えます。

切替画面 URL : http://2.2.2.1/index.fcgi?cmd=gui_cmd_mnt_vpn_conn_setting_view

5.1.1. 接続先切替画面のショートカット作成

接続先切替画面へ簡単にアクセスするため、使用するブラウザにお気に入り登録するか、以下の内容の html ファイルの用意を推奨します。

切替画面表示用 html

```
<meta http-equiv="refresh" content="0; URL=http://2.2.2.1/index.fcgi?cmd=gui_cmd_mnt_vpn_conn_setting_view">
```

5.1.2. VPN 有効化(VPN 状態)

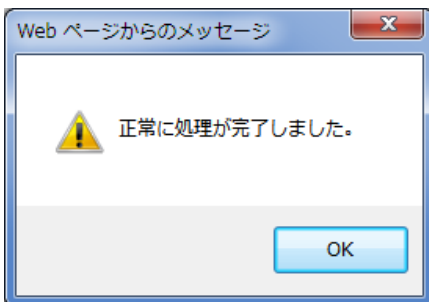
(1) Web ブラウザで接続先切替画面にアクセスします。

VPN接続有効無効設定	
ヘルプ ?	
設定を変更した際、設定動作を開始するまでに1分程度時間がかかる場合があります。	
【VPN接続有効無効設定】	
VPN接続	<input type="checkbox"/> 有効にする
【DNSアドレス】	
プライマリ DNSアドレス	202.228.1.33
セカンダリ DNSアドレス	202.228.1.34
設定	

(2) 「有効にする」をチェックし、設定ボタンをクリックします。

【VPN接続有効無効設定】	
VPN接続	<input checked="" type="checkbox"/> 有効にする

(3) 完了メッセージが表示します。「OK」をクリックします。



- ※ 設定反映(VPN 状態切替)時間は、VPN ルータの状態や操作のタイミングにより、10 秒から 100 秒程度の幅があります。
- ※ macOS で VPN 切替前に日レセ クラウドにアクセスした場合、10 分程度、日レセ クラウドにアクセスできない場合があります。日レセ クラウドにアクセス出来なくなった場合は macOS の DNS キャッシュをクリアします。

(4) 完了メッセージの表示後、画面が以下のように変わります。

VPN接続有効無効設定	
ヘルプ ?	
設定を変更した際、設定動作を開始するまでに1分程度時間がかかる場合があります。	
【VPN接続有効無効設定】	
VPN接続	<input checked="" type="checkbox"/> 有効にする
【DNSアドレス】	
プライマリ DNSアドレス	202.228.11.131
セカンダリ DNSアドレス	202.228.11.132
設定	

5.1.3. VPN 無効化(インターネット状態)

(1) Web ブラウザで接続先切替画面にアクセスします。

VPN接続有効無効設定 [ヘルプ ?](#)

設定を変更した際、設定動作を開始するまでに1分程度時間がかかる場合があります。

【VPN接続有効無効設定】

VPN接続 有効にする

【DNSアドレス】

プライマリ DNSアドレス	202.228.11.131
セカンダリ DNSアドレス	202.228.11.132

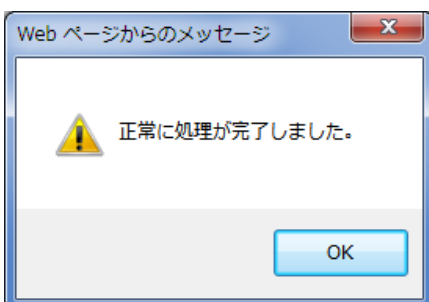
設定

(2) 「有効にする」のチェックを外し、設定ボタンをクリックします。

【VPN接続有効無効設定】

VPN接続 有効にする

(3) 完了メッセージが表示します。「OK」をクリックします。



※ 設定反映 (VPN 状態切替) 時間は、VPN ルータの状態や操作のタイミングにより、10 秒から 100 秒程度の幅があります。

(4) 完了メッセージの表示後、画面が以下のように変わります。

VPN接続有効無効設定 [ヘルプ ?](#)

設定を変更した際、設定動作を開始するまでに1分程度時間がかかる場合があります。

【VPN接続有効無効設定】

VPN接続 有効にする

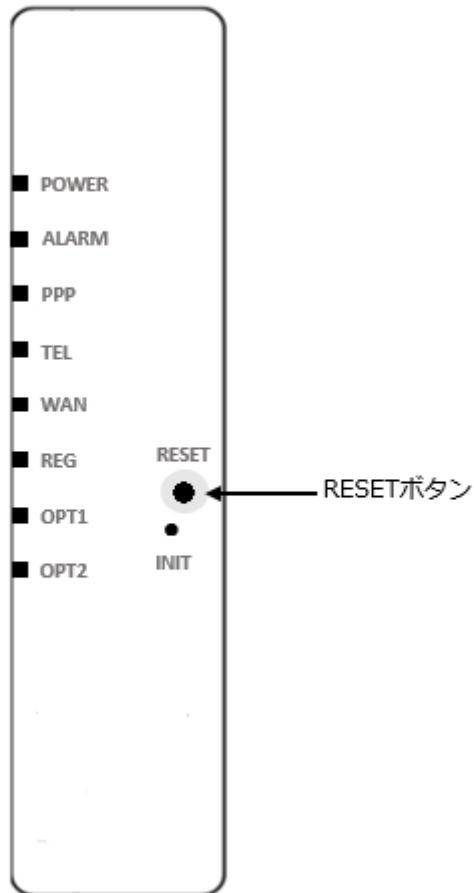
【DNSアドレス】

プライマリ DNSアドレス	202.228.1.33
セカンダリ DNSアドレス	202.228.1.34

設定

5.2. 再起動方法

本ルータを再起動する場合は筐体正面の RESET ボタンを押します。
数秒後にステータスランプが全て点灯し、再起動が開始されます。



ご注意点

再起動実施後、5～10 分程度経過し、完全に立ち上がるのをお待ちください。

5.3. 日医標準レセプトソフト クラウド版への接続方法

本ルータを[VPN 状態]に設定し、日医標準レセプトソフト クラウド版にアクセスします。

5.4. 審査支払機関への接続方法

本ルータを[VPN 状態]に設定し、審査支払機関(オンライン請求システム等)にアクセスします。

5.5. インターネット／院内他セグメントへの接続方法

本ルータを[インターネット状態]に設定し、他セグメントやインターネットにアクセスします。
他セグメントとの通信には上位ルータのルーティング設定が必要です。

5.6. セキュリティサイトアクセス接続・利用方法

VPN 接続状態の本ルータからセキュリティサイトアクセス(プロキシサーバ)経由で、本サービスで指定する ORCA(日レセ)関連サイト等にアクセス可能です。

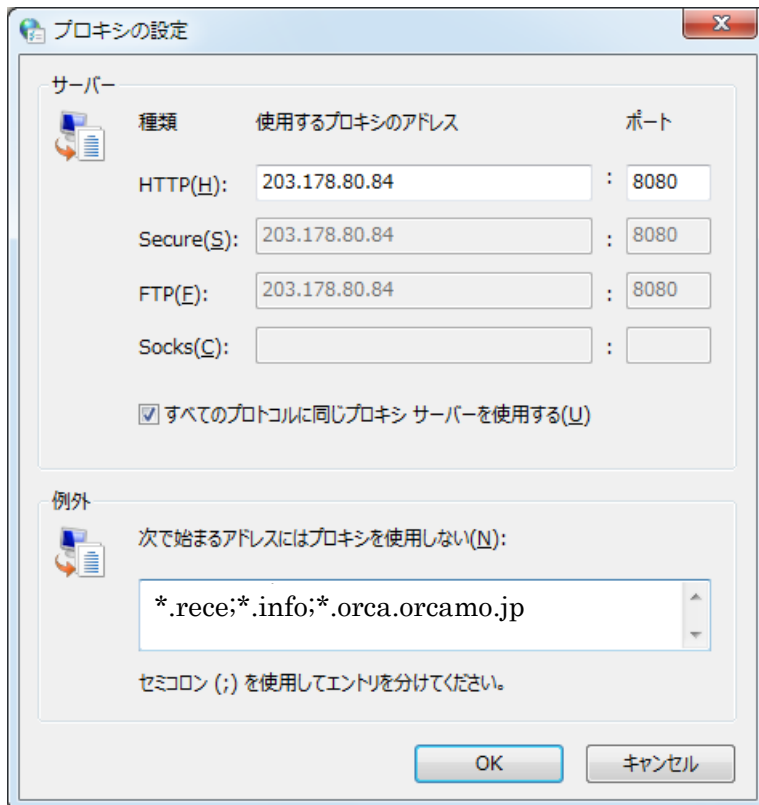


プロキシの設定

IP アドレス	ポート	例外
203.178.80.84	8080	*.rece *.info *.orca.orcamo.jp

<Windows のプロキシ設定例>

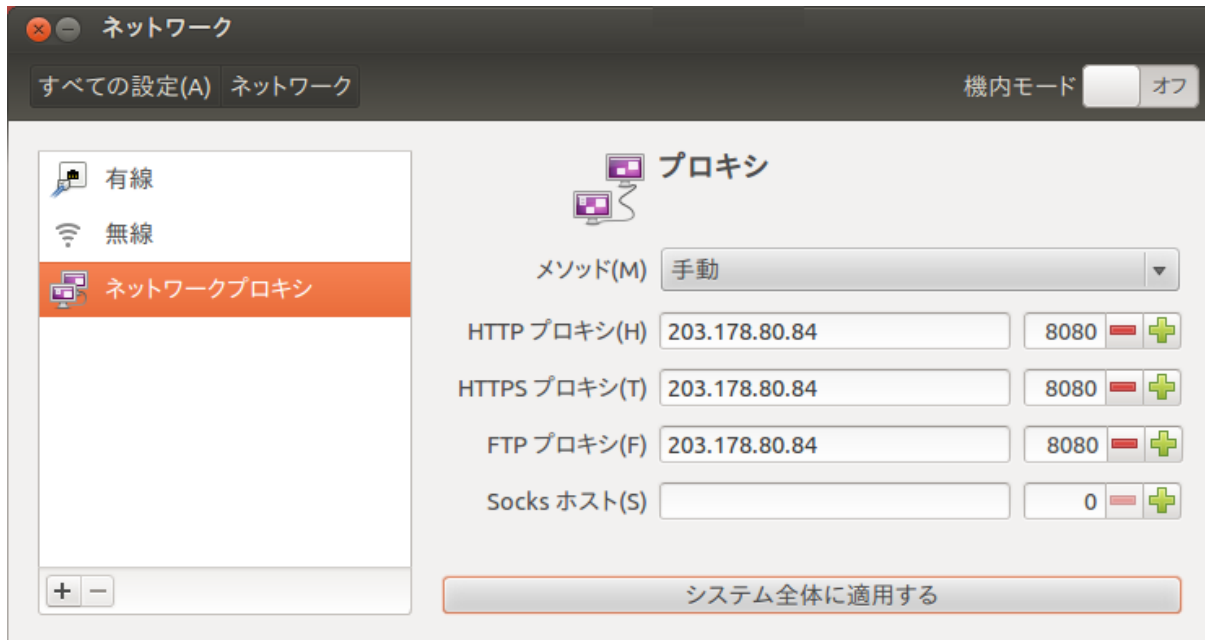
「インターネットオプション」の「プロキシの設定」にて、以下のように設定します。



<Ubuntu 12.04、14.04 のプロキシ設定例>

※ プロキシ経由でマスタ更新・プログラム更新等を実施する場合には、日レセのサーバプロセスにプロキシ設定を反映させる必要があります。設定方法の詳細は日レセのサポートセンターにお問合せください。

[システム設定]から[ネットワーク]を開きます。
 ネットワークプロキシを以下のように設定します。



[Firefox]の[設定]を開き、プロキシを以下のように設定します。



5.7. リモートメンテナンス接続・利用方法(本ルータ機能)

院内設置の VPN ルータとサポート事業所設置の VPN ルータを使用して、サポート事業所ネットワークの端末から院内端末へのリモートメンテナンスが可能です。

5.7.1. 接続方法

- (1) 院内設置の VPN ルータを[VPN 状態]に設定し、院内ネットワークの端末から「10.160.0.10」に ping の送信を行い、応答があることを確認します。(この操作で院内設置の VPN ルータはリモートメンテナンスセンタと VPN 接続します。)
- (2) サポート事業所設置の VPN ルータを[VPN 状態]に設定し、(1)の操作から 10 分以内にサポート事業所ネットワークの端末から院内ネットワークの端末に NAT 後 IP アドレスでアクセスします。(この操作でサポート事業所設置の VPN ルータはリモートメンテナンスセンタと VPN 接続します。)

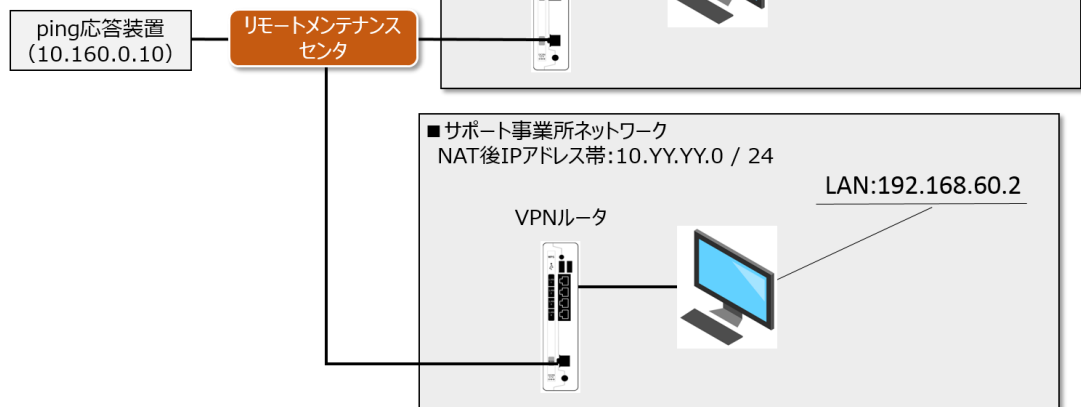
<注意点>

※ リモートメンテナンスを行う場合、院内 VPN ルータとサポート事業所 VPN ルータとが、同時にリモートメンテナンスセンタに VPN 接続する必要があります。

NAT後IPアドレス変換ルール

実IPアドレス	NAT後IPアドレス
192.168.50.2	10.XX.XX.2
192.168.60.2	10.YY.YY.2

指定のIPアドレスに第3オクテットまで置き換える



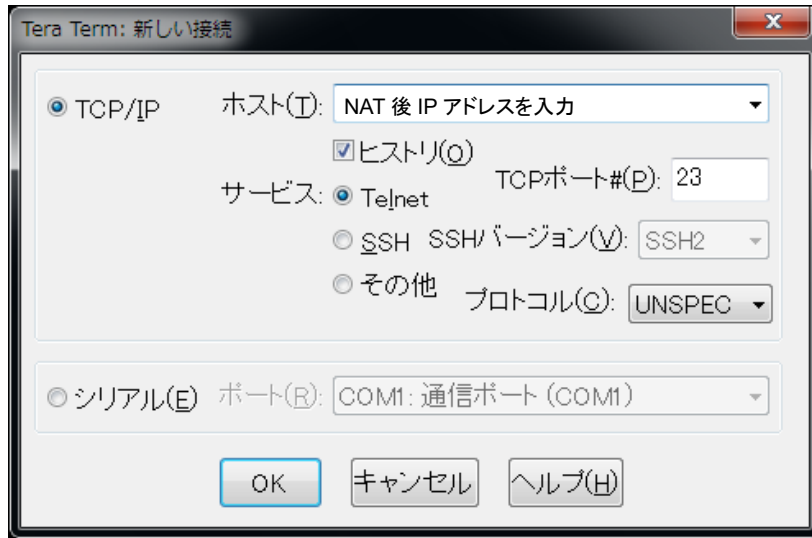
5.7.2. VPN 切断条件

以下の条件でリモートメンテナンスセンタとの VPN 接続は自動で切断します。
 切断後は接続方法に記載の手順でリモートメンテナンスを再開します。

項目	内容
VPN セッションタイムアウト時間	1 時間
無通信タイムアウト時間	10 分

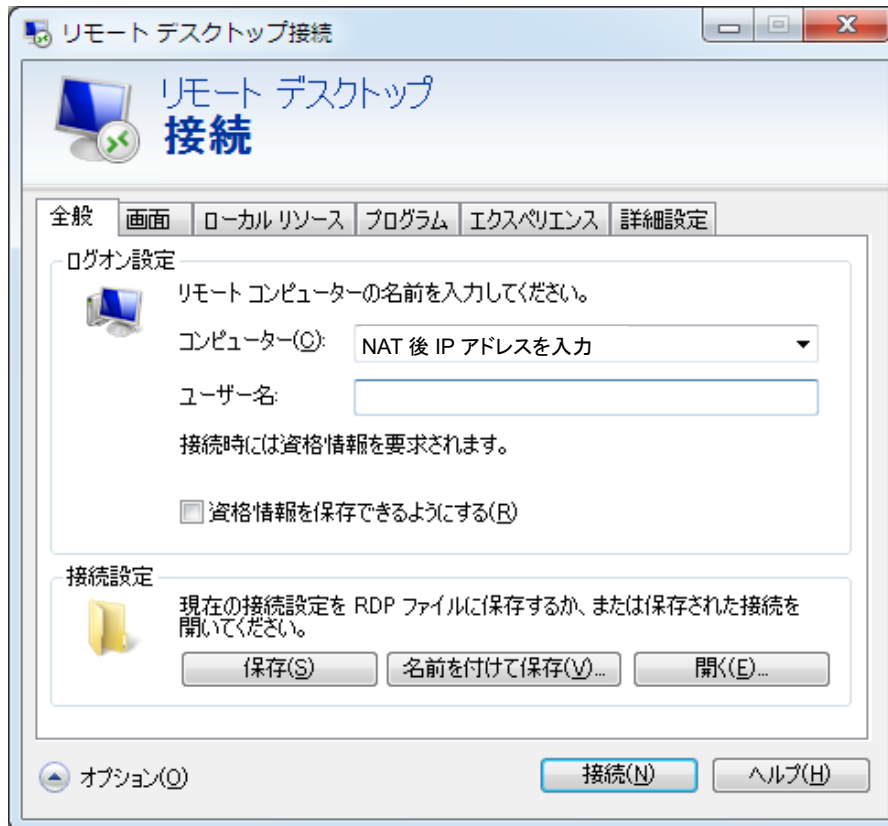
5.7.3. 利用方法例 (telnet)

サポート事業所ネットワークの端末から院内ネットワークの NAT 後 IP アドレスにアクセスする。



5.7.4. 利用方法例(リモートデスクトップ)

サポート事業所ネットワークの端末から院内ネットワークの NAT 後 IP アドレスにアクセスする。



5.7.5. 利用方法例(RealVNC)

- (1) 院内ネットワークの端末で VNC Server を起動します。
- (2) サポート事業所ネットワークの端末から VNC Client でアクセスします。
VNC ビューア画面の「サーバ」欄に「NAT 後 IP アドレス」を入力します。

5.7.6. 利用方法例(Teamviewer)

- (1) 院内ネットワークとサポート事業所ネットワークの両方の端末で TeamViewer を起動します。
- (2) サポート事業所ネットワークの端末から TeamViewer でアクセスします。
TeamViewer 画面の「パートナーID」欄に「NAT 後 IP アドレス」を入力します。
※ 接続できない場合は TeamViewer のオプション「全般」の「受信 LAN 接続」を「同意」または「同意のみ」に設定します。

6. トラブル対応手順

6.1. VPN ルータの PPP ランプが赤点灯している

・VPN ルータの申込情報に問題がある場合があります。WAN 側、LAN 側のネットワークアドレス帯が重複している場合などに発生します。

6.2. インターネットに接続できない

- ・上位ルータの設定を確認し、NTP サーバへの通信が許可されていることを確認します。
- ・端末に IP アドレス、DNS サーバを手動で設定している場合は設定内容を再確認します。
- ・特定の URL にのみアクセス出来ない場合は端末の DNS キャッシュをクリアします。

DNS キャッシュクリア

WindowsOS:ipconfig /flushdns

macOS(OS X v10.10.4 以降):sudo killall -HUP mDNSResponder

・インターネット側の DNS サーバから ping 応答があるが名前解決が出来ない場合は VPN ルータを再起動します。

6.3. 日レセ クラウド、審査支払機関に接続できない

- ・上位ルータで UDP500 と UDP4500 の通信が許可されていることを確認します。
- ・上位ルータに VPN パススルー機能や IPsec パススルー機能がある場合は有効にします。
- ・上位ルータの設定を確認し、NTP サーバへの通信が許可されていることを確認します。
- ・端末に IP アドレス、DNS サーバを手動で設定している場合は設定内容を再確認します。
- ・特定の URL にのみアクセス出来ない場合は端末の DNS キャッシュをクリアします。

DNS キャッシュクリア

WindowsOS:ipconfig /flushdns

macOS(OS X v10.10.4 以降):sudo killall -HUP mDNSResponder

・VPN 側の DNS サーバから ping 応答があるが名前解決が出来ない場合は VPN ルータを再起動します。

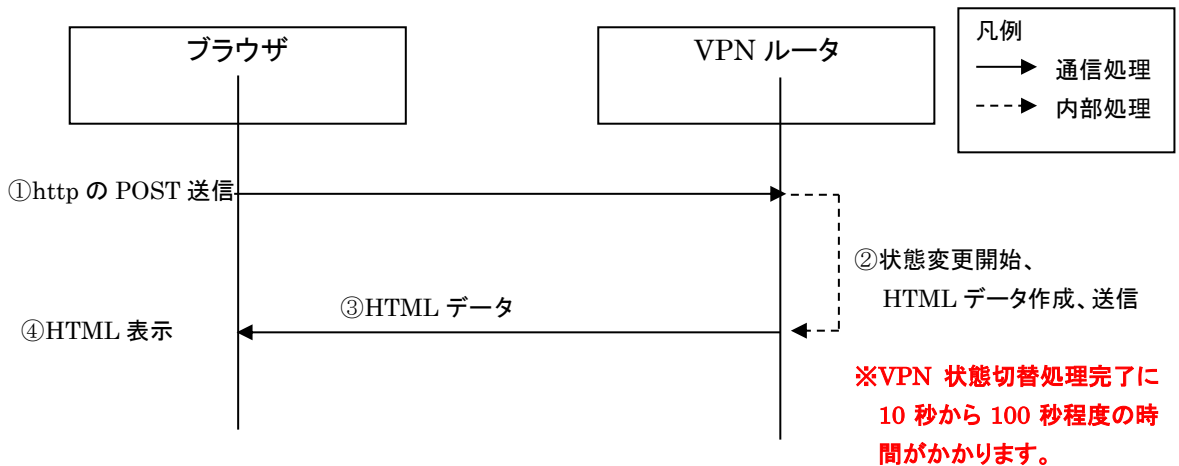
7. 接続先切替画面の仕様

VPN ルータの接続先切り替え操作に関する仕様です。

接続先切り替えを行うためには、ブラウザが本動作を実行可能である必要があります。

7.1. インターネット/VPN 切替操作仕様

インターネット/VPN 状態の切り替えは HTTP の POST リクエストを VPN ルータに送信することで操作します。



①http の POST 送信

送信先 URL: `http://2.2.2.1/index.fcgi?cmd=gui_cmd_mnt_vpn_conn_setting_view`

POST するデータ	VPN 状態に変更	<code>cmd=gui_cmd_mnt_vpn_conn_mode_set&VpnEnabled=1&pDnsAddress=&sDnsAddress=&dsp_VpnEnabled=on</code>
	インターネット状態に変更	<code>cmd=gui_cmd_mnt_vpn_conn_mode_set&VpnEnabled=0&pDnsAddress=&sDnsAddress=</code>

②状態変更開始、HTML データ作成

VPN ルータは POST リクエス受信直後に HTTP で HTML 形式の応答を行います。

HTML データの送信から、インターネット/VPN の状態切り替え完了まで 10 秒から 100 秒程度の時間がかかります。

④HTML 表示

POST 後、VPN ルータが応答した HTML のデータをブラウザが表示します。

VPN 状態とインターネット状態では以下の箇所に相違があります。

ブラウザ画面上、チェックボックスのチェックの有無と解釈されます。

■VPN 状態

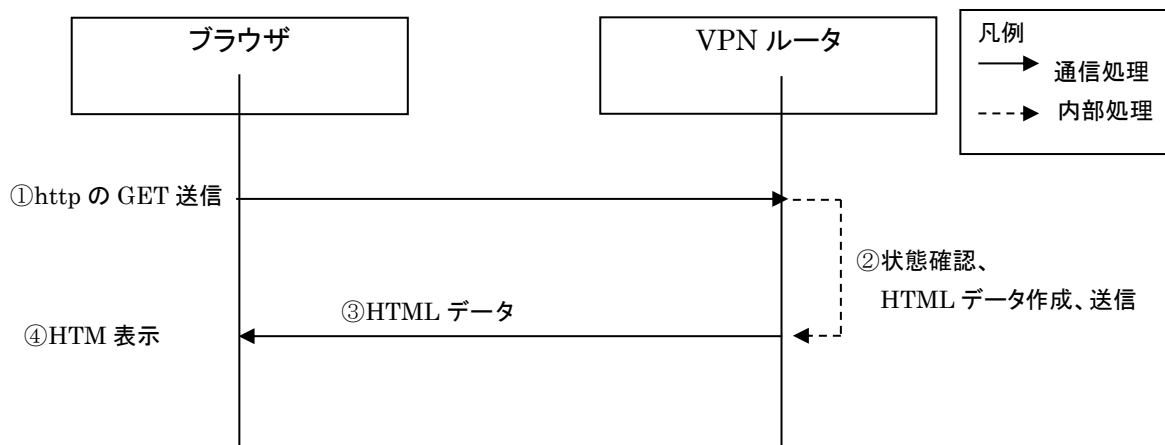
```
<td class="header3"><input type="checkbox" name="dsp_VpnEnabled" checked>
```

■インターネット状態

```
<td class="header3"><input type="checkbox" name="dsp_VpnEnabled">
```

7.2. インターネット/VPN 状態確認仕様

VPN ルータがインターネット状態か VPN 状態であるかの確認は HTTP の GET リクエストを VPN ルータに送信することで確認可能です。



① http の GET 送信

送信先 URL: `http://2.2.2.1/index.fcgi?cmd=gui_cmd_mnt_vpn_conn_setting_view`

④ HTML 表示

GET 後、VPN ルータが応答した HTML のデータをブラウザが表示します。

VPN 状態とインターネット状態では以下の箇所に相違があります。

ブラウザ画面上、チェックボックスのチェックの有無と解釈されます。

■VPN 状態

```
<td class="header3"><input type="checkbox" name="dsp_VpnEnabled" checked>
```

■インターネット状態

```
<td class="header3"><input type="checkbox" name="dsp_VpnEnabled">
```

8. 商標について

- ・Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・Ubuntu は、Canonical Ltd.の商標または登録商標または商標です。
- ・VNC は、RealVNC Ltd.の米国およびその他の国における登録商標または商標です
- ・TeamViewer は、TeamViewer GmbH の登録商標または商標または商標です。
- ・その他、記載されている会社名、商品名は、各社の商標および登録商標または商標です